

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議	文書番号	上富子育 第 408 号
		決裁期日	平成 25 年 11 月 8 日
名 称	【平成 25 年度第 1 回】上富良野町子ども・子育て会議		
日 時	平成 25 年 11 月 7 日（木） 18：00～20：30		
場 所	上富良野町保健福祉総合センター 2 階研修室		
出席者	町長、子ども・子育て会議委員 15 人(別紙名簿のとおり) 保健福祉課長 石田、健康推進班主幹 杉原、子どもセンター 山田主査、 子育て支援班 安井、吉河		
内 容	<p>1 開会 進行 石田課長(委員長選任まで)</p> <p>2 辞令交付 町長より各委員に委嘱状交付</p> <p>3 町長あいさつ 皆様のご意見をいただきながら、町の5か年の計画を作っていく。 町ぐるみで子どもを育てていける体制を整えてゆきたい。</p> <p>4 委員自己紹介 各委員より自己紹介。保健福祉課職員自己紹介</p> <p>5 上富良野町子ども・子育て会議条例について 資料2 により事務局より説明</p> <p>6 委員長及び副委員長の選任 初対面の委員も多いため、事務局提案を承諾 委員長 山下 由紀夫(旭川大学教授) 副委員長 若林 弘士(上富良野小学校長)</p> <p>7 委員長及び副委員長あいさつ(席移動) 町長退席</p>		

内 容

山下委員長議事進行

8 議事

(1) 子ども・子育て新制度について

資料3により事務局より説明

委員長 : 質問、意見を求める。

成田委員 : 保育の必要性の認定基準はどのようになるのか。

事務局 : 国でも議論の最中である。

委員長 : 全保協でも意見のあるところである。幼児教育の確保と保育の必要量を確保するために様々な意見がある。国ができないのであれば、町がどこまでできるかを検討しなければならぬ。

菊池委員 : 高田幼稚園と西保育園では両方のノウハウを持っているが、認定こども園をどのように考えているかお聞きしたい。

増田委員 : 子どもの育ちを考えると、幼稚園、保育所、こども園に関わらず大きなくくりで考える必要があるが、費用、設備など細部が決まっていないうちで、我々も足踏みをしている状況。

菊池委員 : 私は今年の4月から働き始め、上の子は幼稚園、下の子は保育所を利用している。こども園だと一緒に施設を利用できると思う。

委員長 : こども園の大きなメリットの一つである。こういう議論により、上富良野町の方向性を見出して行ければと思う。

(2) 子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について

資料4により事務局より説明

事前に配付のうえ、意見を求めることを通知済み

委員長 : アンケート調査の内容について意見を求める。

増田委員 : ニーズ調査の目的について質問

事務局 : 計画策定にあたって、保護者の意向、事情、環境の把握について、法の規定あり。多くの方の状況把握の方法としてアンケート調査実施。

委員長 : 計画には数量的なものも盛り込むためニーズ量の調査が必要である。

増田委員 : 調査を実施することの趣旨、新制度の基本方針を充分説明することの重要性について意見

委員長 : 冒頭の趣旨説明は、親目線で見直しを検討

菊池委員 : 回収率の見込みについて質問。ボリュームのある調査である。

事務局 : 行政が行う調査では60%程度が目標。

ボリュームの軽減、趣旨説明など、回収率を上げるよう工夫。

増田委員 : 前回の次世代育成支援計画の際の回収率について質問

事務局 : 60.2%

委員長 : 配付方法、対象についてはどのように考えているか。

事務局 : 就学前児童を対象に郵送を考えている。複数の子がいる家庭では、全員では無く年少児とする方法、小学生を対象とする方法も考えられる。

野崎委員：放課後クラブの対象年齢も改正になるので、ぜひ小学生の意向も把握してほしい。3年生くらいまでを対象に、就学児用の設問に限定した調査票を検討してほしい。

委員長：就学児のニーズ調査についての意見を求める。

委員：小学生の放課後の居場所について、保育所との時間の違い、きょうだいの対応等について意見あり。

委員長：調査票は、未就学児については一世帯に1部配付、年少児を対象に回答。就学児については、放課後対策に関する内容で、三年生までを対象にニーズ調査実施

北村委員：量が多く、回答に時間がかかる。設問の削除について提案  
問9の設問の趣旨は何か？不要ではないか。

事務局：国のひな形を基本としている。計画に反映しない設問は削除検討するので、意見をいただきたい。

森井委員：問30の設問は無くても良いのではないか。

事務局：計画の任意記載事項として、産休、育休後の円滑な施設利用確保がある。  
上富良野町は産休、育休後の待機がないので、削除可能

北村委員：問31、問32の設問は乳幼児健診時にいつも聞かれるが、その記録を活用することはできないか。

問24、問25の回答方法は、選択制にしてはどうか。

増田委員：問10の選択回答に配偶者（夫・妻）を加えてはどうか。

問19-1 選択回答に幼稚園、保育所、社教センター等を加えてはどうか。

事務局：いろいろご意見をいただきましたので、再度事務局で精査のうえ修正案を審議いただくか、今日の意見を反映させて事務局で成案とするか、意見をいただきたい。

委員長：事務局で修正、精査のうえ、再度調査票の内容について会議で検討するか意見を求める。

谷口委員：調査の時期に制限があるか。再度検討する時間があるか。

事務局：期限が決まっているものではないが、今年度中に調査結果の分析と結果報告を完了しなければならない。12月の早い時期に調査票の発送を想定すると、ニーズ調査の内容は今月中に検討したい。

菅野委員：親の年齢記載について提案

北村委員：広報等による、アンケート実施の事前周知について提案

事務局：広報、防災無線などで事前に周知する。

森井委員：量だけでなく満足度など質についての設問を加えることはできないか。

増田委員：計画に質の問題を盛り込むということですか。

事務局：質に関しては客観的な判断が難しい。満足度を把握することは可能であるが、計画に盛り込むことは難しいと考える。質の問題に関しては国も一定の基準を設ける。

委員長：計画は環境をどう整備するかというものになる。

菊池委員：それは理解するが、せっかくこうした会議や調査を行なうので、量だけを論議するのは残念である。

事務局 : 調査、計画だけが会議の所掌ではない。今後会議の中で議論いただきたい。

委員長 : もう一度調査内容について審議を希望するか。

委員 : ニーズ調査の内容検討希望

### (3) 第2回子ども・子育て会議について

事務局 : ニーズ調査について、もう一度検討していただくこととなりますので、できるだけ早い時期に、次の会議を開催したい。

調査票の修正に1週間程度、事前に修正案を送付する期間を見込み

11月21日以降で、今月中の開催を調整したい。

増田委員 : 時間帯は、お母さんたちには日中の方が良いのではないか。

委員長 : 会議の時間帯について意見を求める。

各委員よりいろいろ意見出るが、挙手により夜の時間帯希望者多数

事務局 : 11月下旬の平日の夜で、委員長、副委員長と調整のうえ案内

増田委員 : 次の会議の議事内容確認。内容によっては欠席できない。

事務局 : ニーズ調査に関する議題を予定。欠席される委員は、事前に意見等連絡いただければ会議で紹介する。

### 9 その他

次回会議もこの時間帯で案内。

事前に修正案が配付されるので、調査内容について審議をお願いします。

忌憚のないご意見をいただきありがとうございました。

### 10 閉会